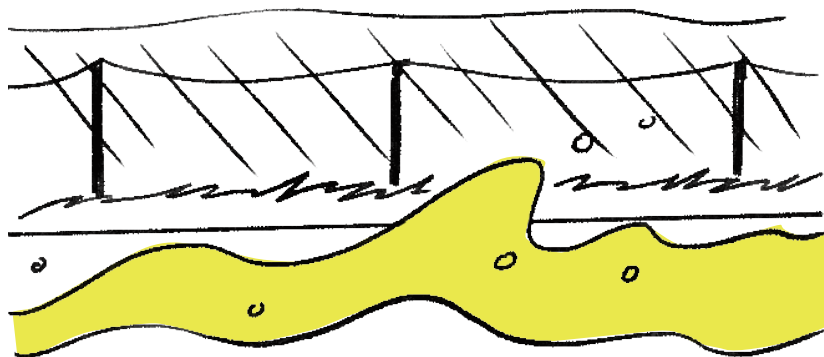


大雨のとき

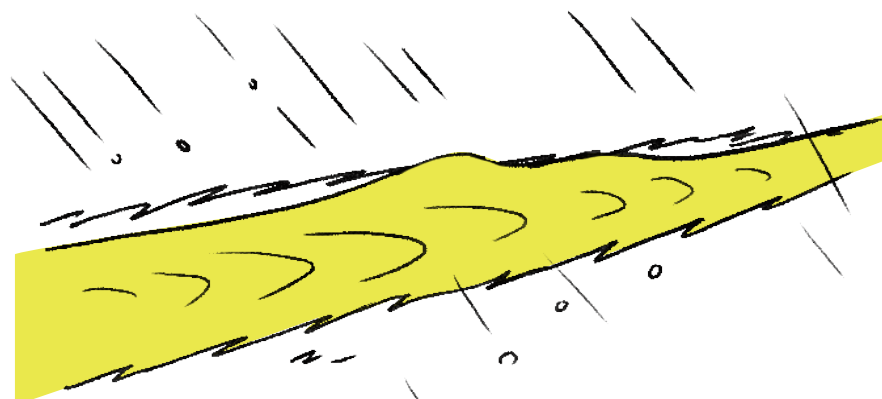
大雨時には様々な場所に危険があります。以下の場所には近づかないでください。

河川



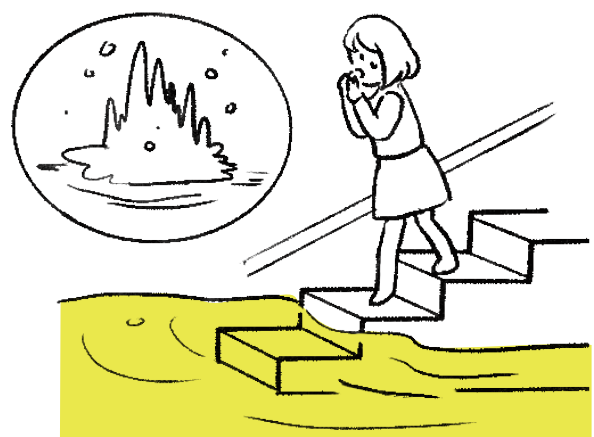
増水した河川は転落の危険性

用水路



用水路の存在が分かりづらく転落の危険性

地下施設



地下に水が流れ浸水の危険性

アンダーパス



車が浸かると身動きが取れなくなる危険性

崖



土砂災害の危険性

❗感染症に注意

浸水時は下水も混ざり感染症リスクも。
できるだけ入らないでください。

❗声をかけあおう

田畑や用水路の様子を確認しようと
する人を全力で引き止めてください。

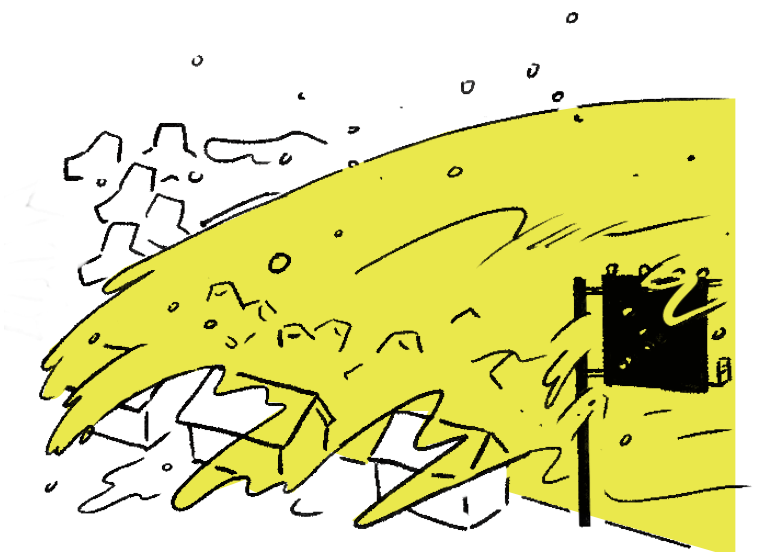
暴風のとき

屋外



暴風時の屋外は飛散物が非常に危険です。
無理な外出はしないでください。

海



台風接近時は高潮・高波が危険です。
なるべく高く安全な場所に避難を。

風の強さのめやす

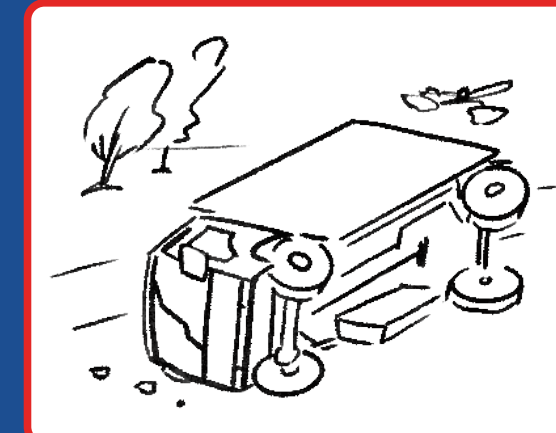


歩けない

平均風速

秒速(m/s) 20メートル

時速(km/h) 約70キロ



トラック横転

30メートル

約110キロ



家屋倒壊

40メートル

約140キロ

風水害発生 直前/発生時

大雨&台風への備え 避難判断のための情報を入手しよう

SNSでつながる
防災アクション
ガイド

スマホ・テレビをうまく使いこなそう

災害時は、刻々と状況が変化します。
最新の避難情報や気象情報を確認して、
早めに備えておきましょう。



スマホアプリ

NHKニュース防災
NHKニュース防災
ニュース全般

Yahoo!防災速報
避難情報など

Yahoo!天気
気象情報

SNSアカウント

住まいの地域の自治体
アカウントなどをフォロー
しておきましょう。

NHKニュース
@nhk_news

自治体
都道府県や
市区町村

テレビ

- ・気象庁の臨時会見は要チェック
- ・災害時の最新の情報はNHKで

交通情報を要チェック

すでに交通が止まっている場合、
無理な移動は避けて、学校や会社など
安全な場所にとどまりましょう。
運行情報は各社の特設サイトを確認。

避難判断のポイント

避難情報発令時はすでに危険な状況。
最新の情報を要チェック。

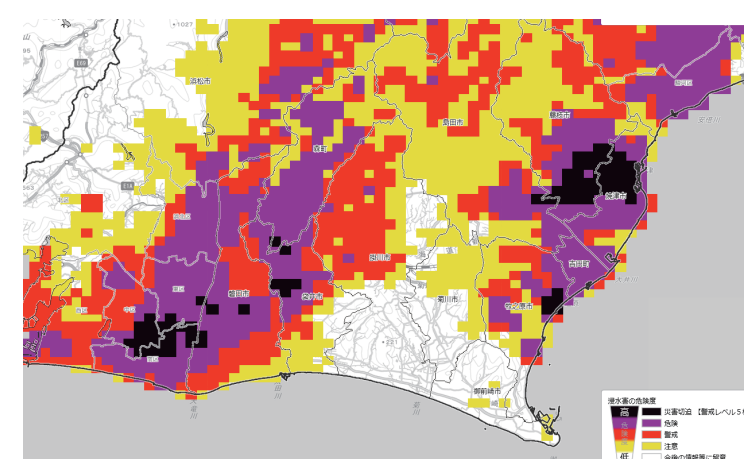
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報
警戒レベル 5	命を守るための最善の行動をとる	緊急安全確保
警戒レベル 4	全員避難	避難指示
警戒レベル 3	高齢者/障がい者/乳幼児 などと その支援者は避難	高齢者等避難
警戒レベル 2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報
警戒レベル 1	災害への心構えを高める	警報級の可能性（早期注意情報）

！ 暗くなると周囲や足元が見えず、極めて危険です。雨や風が激しくなる前に、
そして暗くなる前に、**早め早めの避難** を心がけましょう。

いまとこれからの雨を確認しよう

いま危険な場所を知る

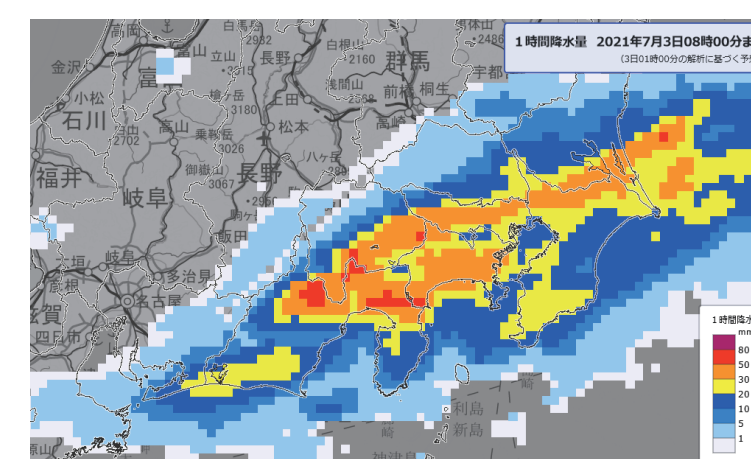
危険度分布 気象庁 検 索



土砂災害・浸水害・洪水について
いまどこが危険なのかをチェック

これからの雨を知る

今後の雨 気象庁 検 索



15時間先までの雨の状況をチェック

出典：気象庁

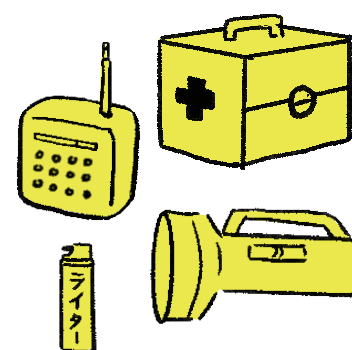


避難を判断したときに困らないよう、非常用持ち出し袋を日頃から準備しておきましょう。
また、避難の際に必要な身支度と、二次災害を防ぐ避難直前の確認事項をおさえておきましょう。



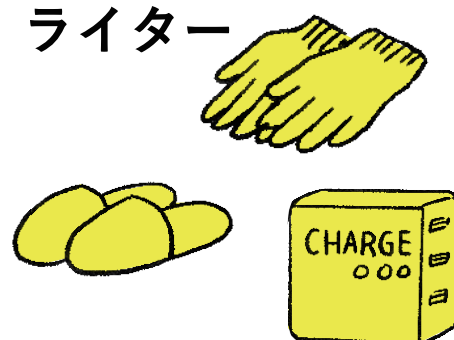
非常用持ち出し袋の確認

避難時に最小限必要なものを防災バックへ。
自分に必要なものを選んで準備しましょう。



防災バック

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 飲料水 | ☐ 菓子類(グミなど) | ☐ 衣類 | ☐ くすり |
| ☐ 食べ物 | ☐ 携帯ラジオ | ☐ ヘルメット | ☐ 救急箱 |
| ☐ ナイフ | ☐ スマホ用充電器 | ☐ 軍手 | ☐ 保温シート |
| ☐ 缶切り | ☐ スマホ用予備バッテリー | ☐ スリッパ | ☐ 携帯トイレ |
| ☐ 乾電池 | ☐ ティッシュペーパー | ☐ ゴミ袋 | |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 使い捨てカイロ | | |
| ☐ 筆記用具 | ☐ ロウソク | | |
| ☐ 耳栓 | ☐ ライター | | |
| ☐ タオル | | | |
| ☐ ロープ | | | |



必需品

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| ☐ 貯金通帳 | ☐ 現金 |
| ☐ 健康保険証 | ☐ 印鑑 |
| ☐ 身分証明証 | |



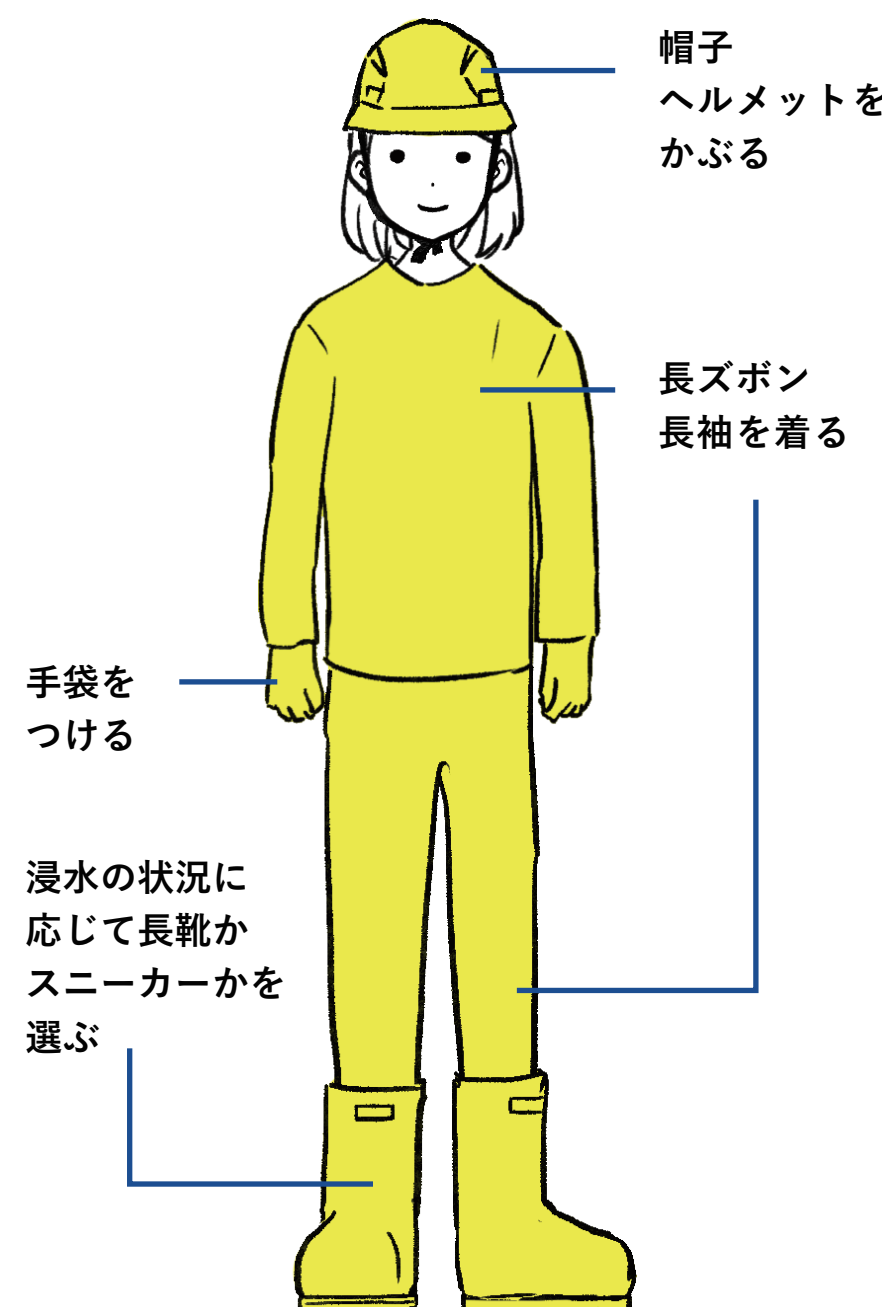
感染症対策のための必需品

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| ☐ マスク | ☐ 体温計 |
| ☐ アルコール消毒液 | |



避難時の身支度

避難所に行く際は感染症対策も
念入りにした身支度をしましょう。



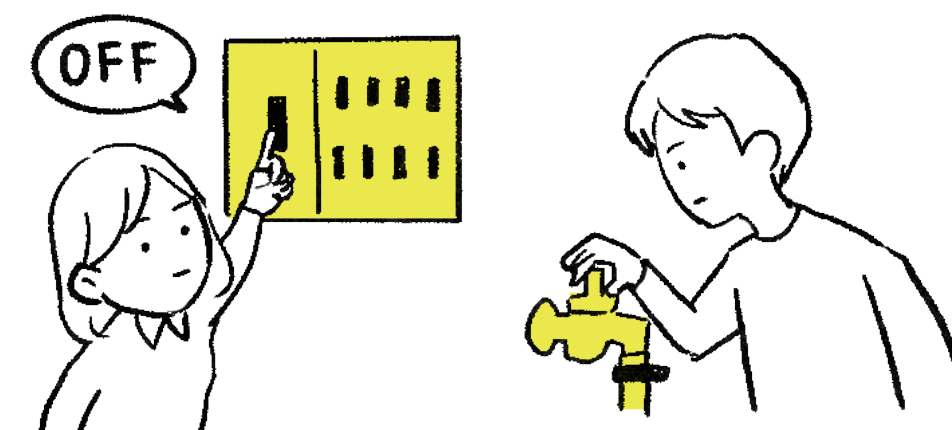
寒さ・暑さに合わせて考えましょう。



アルコール消毒液を用意し、
こまめに手を消毒しましょう。

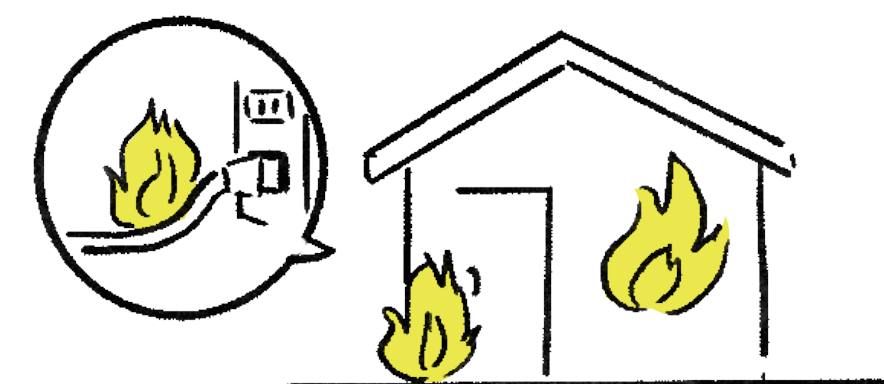
避難直前に家の確認

ブレーカーを落とす ガスの元栓を止める



二次災害を防ごう

電気・ガスが通るようになったときに、
火災などのおそれがあります。
避難直前のひと工夫で防ぎましょう。



風水害発生

直前/発生時

大雨&台風への備え

避難するときに必ず気を付けること

SNSでつながる
防災アクション
ガイド

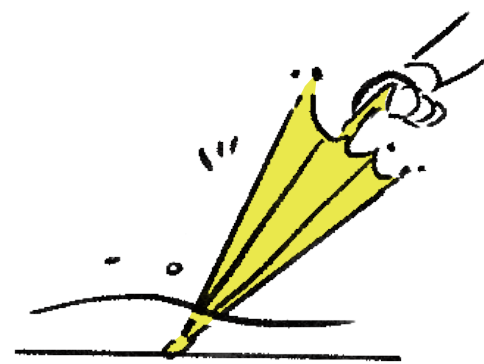
雨風のなか徒歩で避難するとき

浸水時の移動では、**側溝**や**ふたの開いたマンホールへの転落**に要警戒。

できる限り2人以上で行動

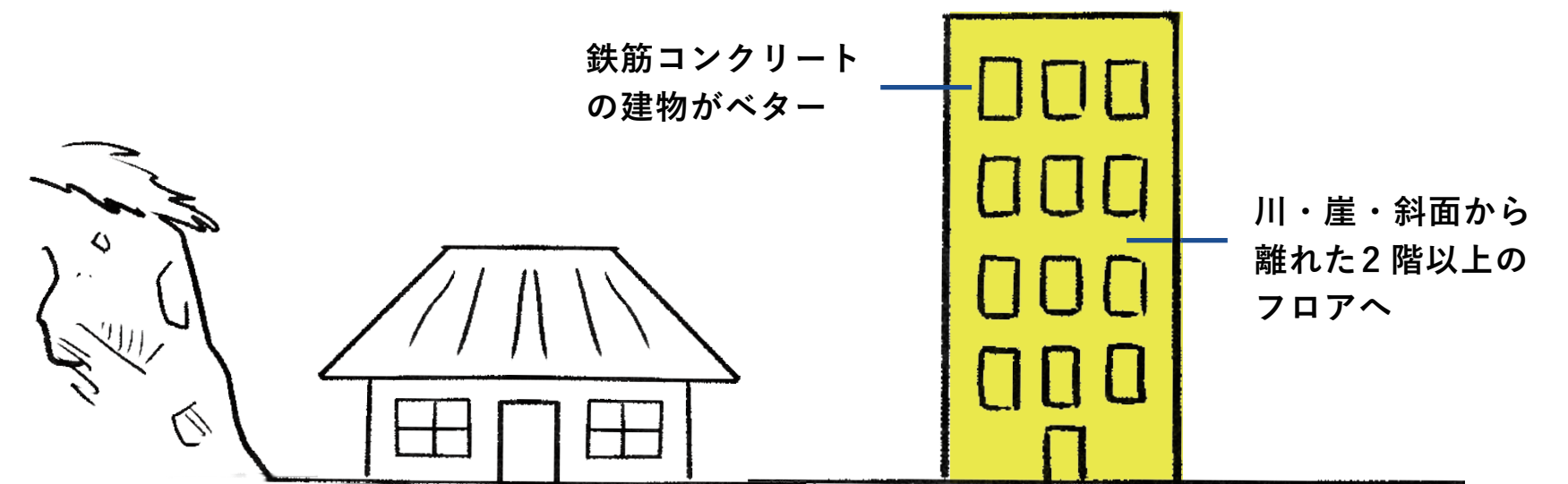
傘や棒などで常に足元を確認

できるだけ明るい時間に避難



避難所への移動が難しいとき

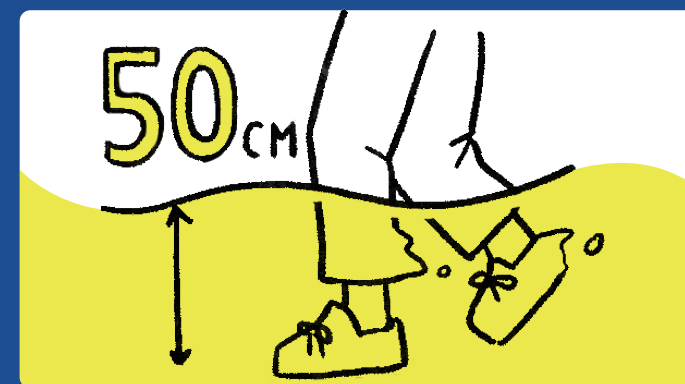
川や崖から少しでも離れた近所の頑丈な建物へ避難してください。



歩ける深さ

浸水時に歩ける水の深さは膝くらいまで。

水深50cm以上になると、水の流れて足をとられる可能性があります。



車での移動は危険

無理に車で移動せず、会社や学校などにとどまって安全確保を。

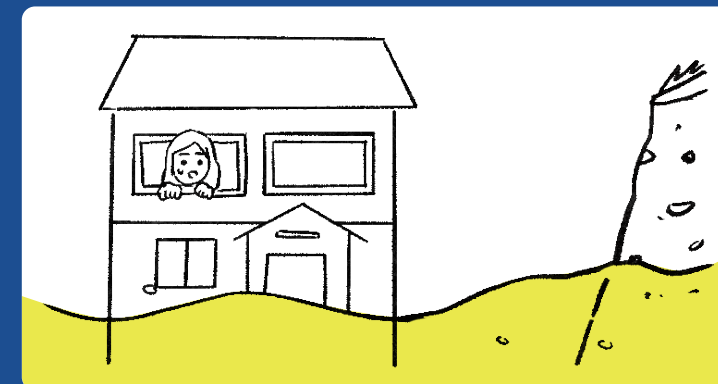
- ・車が浸水したらすぐに外へ。
- ・**水深30cm以上**でエンジン停止の危険性があります。
- ・ドアも開かず、車ごと流される危険性があります。



すでに浸水してきたときの注意点



ドアは**水深50cm以上**で開かなくなります。
そうなる前に、ただちに避難を。



垂直避難は「最後の手段」。
上層階や崖・斜面と反対の部屋で助かることもあります。

！ 場合によっては消防・警察・自治体に救助要請をしてください。